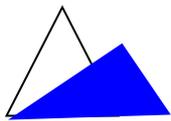


せせらぎ



2018年 12月

No.353



滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

目次

1. 表紙からのメッセージ	P. 1
2. 私のひとりごと	P. 2
3. 12月例会山行案内【高御位山（須磨アルプス）】	P. 3
4. 12月例会山行案内【谷川岳】	P. 4
5. 1月例会山行案内【愛宕山（新春登山）】	P. 6
6. 1月例会山行案内【比良・八雲ヶ原】	P. 7
7. 10月例会山行報告【イブネ】	P. 8
8. 10月例会山行報告【恵那山】	P. 10
9. 10月例会山行報告【登山祭典】	P. 13
10. 11月例会山行報告【高島トレイル②】	P. 17
11. 05月度山行記録	P. 19
12. 11月HPアクセス推移	P. 20
13. 10月定例会議議事録	P. 23
14. お知らせ／編集後記	P. 26

今後の予定

日程	区分	内容
11月17日（土）	定例会議	19:00～21:00 コミセン野洲
12月16日（日）	例会山行	高御位山（須磨アルプス）
12月22日～23日（土、日）	例会山行	谷川岳
1月6日（日）	例会山行	愛宕山（新春登山）
1月12日～14日（土日月）	例会山行	比良・八雲ヶ原
12月15日（土）	定例会議	19:00～21:00 南草津

表紙からのメッセージ

来年は亥（い）年ーいのしし年ですね（表紙写真はウィキペディアから）。山行とイノシシとの関わりでは、例会山行や個人山行で行かれることもある六甲山系で登山者と人慣れしたイノシシとの間のトラブルが多いそうです。私も、だいぶん前ですが、高座谷堰堤にツェルトを張って休んでいた時にウリ坊（子イノシシ）を連れてきた母イノシシにツェルトを切り裂かれたことがあります。脅しても逃げず悠然としていました。臭覚は犬並みに敏感で、前述のように人慣れしていますから、最近でも食べ物を狙われトラブルがあるようです。12月頃から約2か月間は繁殖期で、雄は食欲を減退させますが活発に徘徊するとのこと。これから山行を考えておられる方は充分ご注意下さい。

私のひとごと

私の故郷は「大分県臼杵市」九州の東海岸にあり豊後水道に面した漁村でもある。 小さな 小さな田舎町。



私はそこで 30 年を過ごした。満州からの引揚者であるの上に

9 人の大家族でもあり 貧しい暮らしではあったが賑やかで楽しい生活でもあった。

たまに帰省すると 臼杵の街が小さく狭く感じてならない。端から端まで歩けると感じるほどだ。そして今では名の知れた観光地となっているのに驚かされる。毎日の通学路だった道がポスターになっていたり 友達と遊んだ路地が絵葉書になっている。石仏などは友人とその柵に乗って遊んでいたものが国宝となり 入場料も要るようになってしまった。

食べ物もおいしかった。有名な関サバ・関アジは毎日うんざりするほど食卓にのぼったし フグも「フグ食特区」構想なるものが生まれ肝など平気で食していた 余程新鮮だったのだろう。夫が定年になって故郷へ帰ろうという選択肢も生まれたし 多くの友人が待っていてくれた が そうはしなかった。いつの間にかここ滋賀が故郷になっている そう感じる。

私は湖国・滋賀が好きだ ずっと住み続ける覚悟はできている。

でも 臼杵が懐かしい。味噌や醤油の醸造臭が漂う街
潮の香りがする街 そして何より 私を名前で呼んでくれる街が懐かしくてならない。



【S】

pixta.jp - 43478289

例会山行

たかみくらやま 高御位山 304m



青春18切符でのんびり、駅からハイキングを楽しみませんか

車窓の景色は冬の播磨灘。JR 加古川を過ぎて宝殿、曾根辺りの車窓の北側に低い岩山の起伏が連なるのが播磨アルプスです。主峰・高御位山は須磨富士と呼ばれ地元で親しまれています。今回は、明石海峡を眺めながら、22座を縦走する岩尾根コースを歩きます。

・展望あり ・岩あり ・そしてアップダウンの多い15kmを楽しみたいと思います。

青春18切符を利用して(交通費は通常の半分)師走をわすれて瀬戸内海を遠望しながら楽しもう。

日時 12月16日(日) JR曾根駅 9:30出発

※新快速 前より3両目に乗車

八幡7:06⇒野洲7:13⇒守山7:16⇒草津7:21⇒南草津7:24⇒石山7:28⇒
加古川9:08(各駅に乗り換え) 加古川9:10⇒曾根9:17着

行程 JR 曾根駅→豆崎登山口→P186→大平山→地徳山→鹿島神社分岐→展望台→百間岩→
鷹ノ巣山→高御位山(昼食)→中塚山→鉄塔→北山奥山→太閤岩→峠の地藏・下山→JR宝殿駅
※トイレは、曾根駅・高御位山頂に有る ※歩行時間 約5時間

持ち物 日帰り山行装備 防寒着 地図 お湯(お汁を作ります)食器は用意しますので不要

申込み 12月5日(水)迄

※18切符の利用方法

- ①1枚 11850円で購入すると5人が利用できる切符です。@2370円で1日乗り放題。
- ②例えばA班5人のグループを事前に決める。5人の中で1番遠い駅から乗る人が切符を持つ。
- ③A班の残り4人は、自分の駅から乗車するが、1駅分だけの切符を購入する。
- ④曾根駅でA班5人が一緒に改札を出る。
- ⑤帰路の宝殿駅の改札もA班5人が一緒に入る。
- ⑥各班とも草津駅改札を出るまで同行動をする。そこで解散とする。
- ⑦グループの中で1番遠い人が切符を持ち、他の人は自分の駅まで切符を購入して帰宅する。

参加人数と各自の乗車駅のからみをパズルのように組み合わせ作業が大変ですが、
師走の1日を青春しましょう♪

谷川岳

前泊日帰りで新潟と群馬にまたがる日本百名山の谷川岳に登ります。

コースはロープウェイ利用の天神尾根コースピストンです。

天候が安定しない山域ですが危険箇所は少なく雪山入門におすすめのコースです。

■日程

12月22日（土）～12月23日（日）

■集合

野洲駅9：00

■行程

12/22

野洲駅→名神 竜王IC→中央道→長野道→上信越道→関越道 水上IC
→谷川岳ベースプラザ 7h

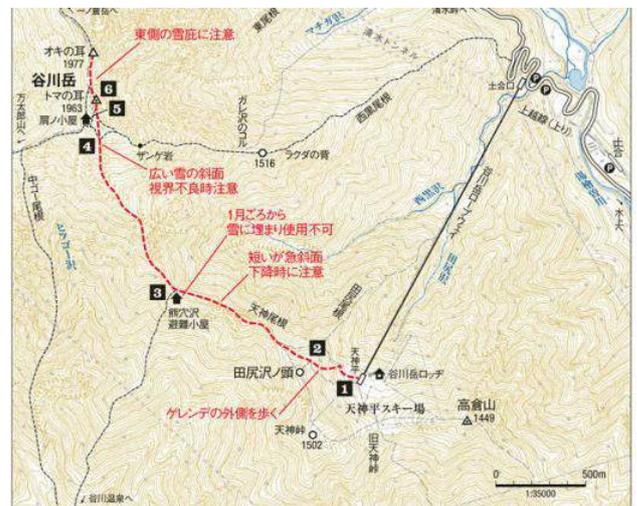
12/23

谷川岳ロープウェイ→天神平駅→熊穴沢避難小屋→トマの耳→オキの耳 7h
→野洲駅

■装備

雪山装備 ワカンorスノーシュー アイゼン ピッケル 行動食 サングラス
地図 コンパス トレッキングポール 防寒着 スパッツ ヘッドライト
健康保険証 GPS

- 申込み締切り：12月1日



愛宕山(新春登山)

日 時：1月6日(日)

集 合：京都駅前 C6 京都市バス乗り場阪急嵐山駅前行 6時58分発に乗車

嵐山駅前にて京都バス清滝行に乗り換え。7時58分、8時17分、42分のいずれかに乗車

◎近江八幡 5:57 姫路行→野洲 6時5分→草津 6時16分→南草津 18分→石山 24分
→京都 6時44分 発 これはバス発まで14分しか時間がない

◎野洲始発 5時49分 網干行→草津 6時4分→南草津 7分→石山 13分→京都発 29分
これならバス発まで29分あります。

◎近江八幡からは5時25分発なら余裕があります。

コース：清滝→表参道→水尾分かれ→愛宕神社→水尾分かれ→水尾→山陰線保津峡駅

持ち物：いつもの用意とアイゼン 防寒着

新 年 会

下山後京都駅ビル京都劇場前の「がんこ」で15時より新年会を開催します。

新年会の参加だけでも結構です。食事と飲み物で3500円ぐらいになると思います。

以上申し込み締め切り 12月31日

山のみ参加 山と新年会の参加 新年会のみ参加 から選んで申し込みください。

1月例会山行案内

武奈ヶ岳 1214m

定例の冬山テント泊入門例会ですが、勿論ベテランの方も楽しんでください。

日程 2019年1月13日（日）～14日（祝）

集合 野洲 6時10分 米プラザ 6時40分

コース1日目 イン谷ローダケ道—北比良峠—八雲ヶ原、テント設営、
時間があればコヤマノ岳から武奈ヶ岳往復

2日目 八雲ヶ原—イン谷口

締切 12月25日（火）

申し込み CL、SL 両名にメールで申し込んでください。車出し可能な方はその旨もご連絡
ください。



例会山行報告

千種街道で行くイブネテント泊～雨乞岳

日時: 2018年10月13日・14日

参加者: 計8名

行程: 1日目

野洲 8:00、永源寺支所 9:30 登山口(岩ヶ谷林道起点)9:30-10:25 古屋敷跡 10:35-11:00 蓮如上人旧跡
11:20-12:00 杉峠近くの小屋 12:05-12:45 杉峠 13:10-14:15 イブネ 14:45-15:10 クラシ 15:15-15:15 イブネ

2日目

5:45 起床 イブネ 7:45-8:20 杉峠 8:35-9:15 雨乞岳 9:30-10:00 杉峠 10:10-11:10 シデの大木 11:35-
12:30 善住坊の隠れ岩 12:50-13:15 登山口 14:45 野洲

会計

※車

永源寺支所～甲津畑登山口 $8 \text{キロ} \times 2 \times 2 \times 30 \div 8 \div 122 \text{円}$
(永源寺支所までは、各車で会計 一人当たり約900円)

※食材

$5778 \text{円} \div 8 \div 723 \text{円}$

※1人当たり 経費 約1750円

報告

千種街道、よく道の整備された藤切川沿いの溪谷を進みました。特に危険なところもなく、スムーズに杉峠まで到着。昔は三本杉が生えていたそうですが、今は1本の枯れ果てた幹が残るのみでした。

ここからは踏み後も薄くなり、ややわかりにくいルートでしたが経験者お二人の的確な道案内で、難なくイブネの台地に到着しました。

イブネの台地は一面が柔らかい苔で覆われ、苔を踏んで歩くのがためられるほどに美しいところでした。滋賀県側も三重県側も辺り一面見渡せる、絶好のテント場でした。馬酔木の木の陰で風の当たりにくい場所にテントを張りました。

そのあとはリーダーの案内で、鈴鹿の山、谷の説明を聞きながら、イブネ最北端、石楠花に覆われたクラシまで行きました。イブネ台地の西端で湧き水を汲み、薪を拾った後、夜は鍋、そのあとの宴会では山の話で盛り上がりました。夜は何回か霧雨や、時には雨粒がテントを叩くほど降りましたが、翌朝は天気も回復傾向で、時折晴れ間も覗く中、予定通り杉峠からピストンで雨乞岳を往復しました。頂上付近は足元の石も見にくいほどの深い笹に覆われていました。帰途は延々のゆっくりとした下り坂、疲れた体にずっとしりと荷物の重みを感じてきた頃に無事登山口に到着、下山を完了しました。今回は下見の際の道迷いや台風による増水等で2度コース変更があり、最終的には初心者にも優しいコースとなりました。また、当日の天気では雨が予想され実施が危ぶまれました。また、この山行の前後にほかの山行が入り、装備の受け渡しの日程があわただしくコースリーダーは苦勞されたようです。

感想

フジキリ谷は先般の台風の影響はあまり受けて無そうで、倒木などもなく杉峠へ 杉の大木とクマザサに覆われて休憩場所も笹の上だった、昔を思い出しながらのしばしの休憩 イブネに着くとすでに何張かのテントが張られている、我がパーティーもテント場を確保する、曇天ながら視界は良好で両方の夜景が美しく輝くころ、焚火で盛り上がり時を過ごす。

テントの下はふかふかの苔 あまり寒くないこの季節の例会山行に感謝しながら ほろ酔い加減で寝袋 夜中小雨がフライを叩く音を聞くも気にならず快眠、久々のテント泊 皆さんと楽しい一夜を過ごせたことに感謝



雪のイブネも素敵でしたが、今回は緑に覆われたふかふかじゅうたんのイブネの寝床。いやいや良く寝れました。ここが以前は深い笹に覆われていたなんて想像できませんがこの別天地がこの先もこのままであってほしいと願うばかりです。

初めての山頂でのテント泊。

重いザックを背負っての山行は、体力のない私には少々修行のようでしたが、たくさんの素敵な思い出ができました。イブネのフカフカの苔のじゅうたん、皆でつついた鍋、火を囲んでの団欒などなど。とても楽しかったです(^_^) 色々サポートしてくださった先輩の皆様、ありがとうございました。

9月に入会させて頂いて2回目の例会、イブネテント泊。

初めての共同装備や食担は、お世話になるばかりで、勉強させて頂くことの方が多かったように思います。

初めてお会いする方も多い中、温かく親切にご指導頂き本当にありがとうございました。

フカフカの苔の大地は、歩いても寝ても気持よく、楽しい山行となりました。皆さま、お世話になり有難うございました。

恵那山

■日 時 2018年10月20日(土) 晴れ後アラシ後雨後晴れ

■参加者 計16名

■行程

05:00 超早朝 竜王集合し4台で出発。名神から中央道・中津川ICで降り恵那山

林道を走り黒井沢登山口に向かいます。

08:00 登山口出発。青空が見え快調

に沢沿いを登ります。

08:40 黒井沢避難小屋 休憩。

10:00 野熊ノ池 小さな池ですが澄

んだ水をたたえています。



沢沿いは気持ちいいけど 滑ります

ここから始まるカラマツ林 この黄葉がお目あてなんですが 今年は緑部分が残り曖昧な色具合で少し残念。前の時は黄金に染まり見事だったのですが。

でも カラマツの間から差し込む光がきれいな森です。

12:30 山頂 小屋は素通りしてまずは山

頂へ。寒いなぁと言いながら昼食。

木で組まれた展望台からも霧の世界が広がり早々に下山にかかりま



す。と 空から何かが！何と 冷たいアラシです！

黄金になるはずの森

帽子にパラパラと音をたてて降り注ぎます。寒い！突然の冬空になりました。



見る間に積もるアラレ

13:15 下山開始 途中雨具装着。とても冷えます。

登りは汗を流し下りは鼻水を流しながら 熊笹の茂る道を下ります。しっかりとした雨になってしまいました。妙な天気の日です。

15:00 野熊ノ池 ここからは滑りやすい沢道を慎重に下ります。いまにも崩れそうな木橋や苔むした岩が続き 緊張が解けません。

16:10 避難小屋 ここまで下ればもう大丈夫。

手先も冷え足も疲れました ひと息入れます。

17:00 下山 ようやく車に戻れました。雨もあがりほっとひと息です。



カラマツと熊笹の森

【N】

なかなか機会のなかった恵那山。

私の不安は10月半ばという気候。。。極度の寒がりなのでドキドキしながら参加しました。

滋賀の出発からいきなりの雨、登山口から途中までは晴れ！テンション上がり、お昼ごはん後、まさかの雹。そこからは、冷え性にはつら～い下山でした（泣）でも、水で濡れた紅葉やカラマツの木々の色鮮やかな景色は、朝の青空の中より綺麗で癒されました。CL, SL、参加の皆さんありがとうございました。

黒井沢登山口の空気の冷たさを肌を感じ、久しぶりの秋山登山にわくわくしました。楓の黄葉やナナカマドではない真っ赤な実が青空に映えてとても美しかったです。昼食後の下山時より雹と雨に降られましたが、雹が雨具に当たる音や足元の笹葉に乗っていく様を面白おかしく歩きました。お目当ての金色のカラマツの紅葉はまたの楽しみに取っておきます。

【K】

【T】

「あれー。雨？」間もなくフロントガラスに大粒の雨が打ち付ける、朝まだ明けぬ名神高速道路。少々腰の引けるスタートとなったが、長野に入るころには晴天となり、まずは一安心。中津川からの曲がりくねった狭い林道を通り登山口に到着し（運転手の皆さん、お疲れ様でした）、身支度を整え出発。山道の林道を過ぎて始まる登りはそこそこきつく、整然と並ぶ紅葉のカラマツ林を過ぎてからの小道に思いの外苦戦。山頂で昼ご飯を済ませて下山するころには、何か空からパラパラと落ちてくる。よ〜く見るとなんと雹！下りでは雹が雨に代わり、久しぶりのカッパの登場。長い下りが終わり駐車場に着いた時には雨も上がり、中津川についた頃にはきれいな夕焼け空に変わっていた。

「終わり良ければ総て良し」ですね。

眺望がないなどの悪評判しか聞けず、いつか行こうと思いながら中々登ることのできなかった恵那山が、今回例会山行となり本当に良かった。16人の大所帯に支えられ無事に登りきることができました。有難うございました。

第56回登山祭典、比叡山回峰行の道

報告:M

- 実施日：2018/10/28（日曜日）
- 天候:晴れ
- 集合場所:京阪本比叡山口駅前広場 8:00
- 参加者： 会員21名 一般参加者5名 合計26名
- コースタイム：京阪本比叡山口集合8:00、出発8:10—根本中堂10:05(休10分)—峰通レストラン広場昼食(豚汁)11:10~12:00—玉体杉12:30—横川駐車場13:00—横川中堂13:25—八王子山、三宮宮と牛尾宮14:45—京阪本比叡山口到着15:35
- 感想寄稿者順

岩田 近くであって、縁のなかった比叡山。最高の秋晴れの中、少し色づき始めた木々や歴史ある建物を一日楽しみました。



表参道、いざ行かん、エイ、エイ、オウ!

久々に参加させていただいた登山祭典、気持ちのいい秋晴れのもと、ご一緒する方や、初めて参加された方々とおしゃべりを楽しみながら、比叡山回峰行の道を歩きました。具だくさんの熱々の豚汁は最高に美味しかったです!

7年かけて1000日の回峰巡拝を行う回峰行では1~5年は1日30キロの行程を6時間で、6年目は大回りとなり1日60キロを、7年目は1日84キロを歩くとか、、、凄いですね。(絵文字)
下山後のヤマップをチェックすると、歩行距離は14.2キロで活動時間は7時間35分でした。

(絵文字)

秋深まる中、大勢の仲間と共に回峰行道を歩けた喜びは大きいです。なんといっても秀逸はやはり豚汁の振舞い、会の伝統でもあり絶やすことなく続けたいものですね。

一般参加の方からも会員申込みがあったと聞きます。うれしいニュースです。個人山行もいいですが、会の結束を図る今回のような山行も大切にしたいものです。色々お世話いただいた方々、ご苦労さんでした。



苦勞の数だけ喜びが、笑いの数だけ顔がある 峰通レストラン前広場にて
お天気もよく、空の青さ、お堂や紅葉の朱色をめで、秋の気配を感じ、ごぼうたっぷりの豚汁も美味し
く、私の五感もフル回転。楽しい山行でした。嬉しさプラス。無料抽選会で緑玉を引当て、お抹茶を
いただくこともできました。皆様ありがとうございました。



オイシイ、わがウデにくるいなし!

久々の山行は、登山祭典でたくさんの人
達と一緒の楽しい時間を過ごせて嬉しかったです。
晴天の中、総勢26名は華やかでした。ワイワイガ
ヤガヤと言いながら、比叡山の雄大な景色と木々、
所々の紅葉そして鐘の音を聞きながらの山行は豊か

な気分になります。でも、途中で見られる倒木の姿
は無惨で自然の恐怖を思い知らされます。それと名物
の豚汁の豚汁のおいしかったこと!!最高です!お揃い
のTシャツもイイですね。



なんだ坂、こんな坂、山が、山が呼んでるヨー!



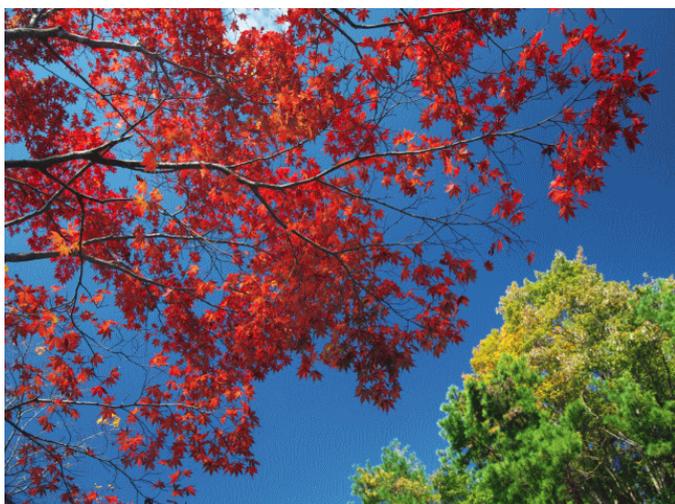
見磨き上げたウデにヨリをかけ、ウマソウ



林の中にたたずむ廃屋や寂し



山で鍛えた風貌には厳しさと慈愛



蒼天に舞う紅葉、鮮やか



家で食うよりうまいカモ(カアチャンゴメン)



カンパーイ



玉体杉で円陣組んで全員集合



三宮宮と牛尾宮に抱かれ、昔むかし神が降り立ったという金大巖(こがねのおおいわ)の前であなたの眼下に、群青色に広がっていく琵琶湖が見えていますか？

京阪本駅から日吉大社の鳥居を抜け周りの寺院を見て気持ちよく歩けたのはここまで。これからは階段、階段と登り下りが続く、、、延暦寺ドライブウェイの展望台での温かい豚汁、おいしかったです。回峰行は30Km以上あるそうですが、今日は14Km。足ががくがくになりながら、多くの倒木の中で自然の力を感じる、歴史ある回峰行の道、天気も良く木漏れ日の中いいい汗をかきました。



風もないのに木の葉が散る。

鬱蒼とした樹林を震わせて鐘撞堂の鐘が鳴る。

道行く人は足を止め、蒼天をかける鳥を追う。

ああ、今日も元気で楽しく一日が暮れて行く 比叡山の秋。

例会山行

「高島トレイル2 黒河峠～大谷山」 報告

【日 時】 2018年11月3日(土) 晴れ時々曇り

【参加者】 計 15名

【行 程】

8:45 林道駐車場出発 → 9:25 マキノ林道分岐 → 黒河峠(くろことうげ) →
10:45 明王の禿 → 11:00 赤坂山 → 11:20 栗柄越(あわがらごえ) → 12:00～
12:30 寒風の手前にて昼食 → 12:40 寒風 →
13:05 大谷山 → 15:00 石庭(いしば) 登山口
→ マキノピックランド

中央分水嶺高島トレイル 第1回の5月20日と第3回の9月2日がやっとながりました。高島トレイル起点愛発越(あらちごえ、国境スキー場)から近江坂まで(起点から20km)つながりました。全長80kmのうち1/4を踏破です。

第2回のこの区間は当初8月5日に計画をしたのですが、今年の猛暑で延期していました。その後も台風21号など自然の猛威による林道の陥没や、倒木など心配なことばかりのコースでした。

稜線に出るまでと稜線から下るのがちょっと元気がいりますが、天候にも恵まれ紅葉も、メタセコイア並木も、若狭湾も、琵琶湖も、伊吹山も一望、贅沢な稜線歩きです。

次回は、来年です。(プログも見てくださいね。)



(大きな陥没)

【感想】

秋のさわやかな空気に包まれ、気持ちのよい稜線ハイクを楽しむことができました。稜線の左右には、琵琶湖と若狭湾がすぐ近くに見え、分水嶺に立っていることが実感できて感動しました。今後も、いろいろな景色やトレイル道の変化を楽しみながら、こつこつと繋いでいけるといいなと思います。ありがとうございました。

この時期の里山は木々の葉が落ちて見通しが良くなり、トレイルには枯葉が積もってサクサクと心地よく歩けます。なんだか哀愁と郷愁を誘う錦秋から晩秋にかけては、個人的に最も好きな季節だったりします。

今回の Part2ルート印象は、稜線上の樹木が低くて明るく開け、琵琶湖や京都山地の展望が良く、山々を渡る風を感じながら晩秋の山を気分良く歩けました。ただハイカーの多さには驚いた。高島トレイルは日本を代表するトレイルとして、もうすっかり全国区になってしまいました。Part4以降の高トレも期待して待ち望むことになっております。

一日のコースは三国山、赤坂山、寒風山、大谷山の4山を縦走する欲張りなコース、久しぶりで楽しみにしながらも、ペースに付いていけるか少し不安でした。実際ハイペースでしたが、剣岳で鍛えていたので無事ついていけました。

稜線の上は明王の禿の見晴らしのいい崖があったり、ススキの草原があったり変化に富んでいて、左には琵琶湖、右には日本海が見え、決して飽きることのない素晴らしい景色でした。寒風山、大谷山あたりはブナの素晴らしい紅葉が見られるはずでしたが、夏の高温とそのあとの台風ですっかり葉は散ってしまし。また来年再挑戦したいと思います。



2018年10月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		プロ グ 掲載
			会 員	会 員 外	
10/3	三方五湖周回歩き		6	1	
10/3	比良山系 堂満岳・コヤマノ岳・武奈ヶ岳		1		
10/3	湖南アルプス		3	1	
10/7 ~ 10/8	北アルプス南部・前穂高岳 奥又白池～前穂高岳～岳沢		1	5	
10/7 ~ 10/8	野谷荘司山・三方岩岳		1		
10/7 ~ 10/9	南アルプス 間ノ岳～北岳		1		○
10/7	六甲山 荒地山・七兵衛山		2		
10/7	伊吹山		1	3	
10/8	高野山(和歌山県)		3		
10/8	雨乞岳 1237m		5		
10/8	三重県・局ヶ岳		1	1	
10/11	鈴鹿山系 錫杖ヶ岳		4		
10/13 ~ 10/14	鈴鹿・イブネ、雨乞岳	例会	8		○
10/13	鈴鹿・タイジョウ 1061m		1		
10/14	武奈ヶ岳		5		
10/15 ~ 10/17	立山 室堂・天狗原・弥陀ヶ原 散策		4	1	○
10/16	六甲山 行者尾根～摩耶山～長峰山		3		
10/19 ~ 10/21	九州 由布岳 & 九重連山		1	2	○
10/19 ~ 10/23	韓国 大苞山(ドンサン)内蔵山(ネジャンサン) 摩尼山(マニサン)		3	4	
10/20 ~ 10/21	鈴鹿 太尾尾根～竜ヶ岳 茨川～藤原岳西尾根～治田峠～茨川		4		
10/20	恵那山(中央アルプス)	例会	17		○
10/20	湖南アルプス / 太神山		1	1	
10/20	県連地図読み講習会(音羽山)		1	4	
10/21	両白山地 赤兎山～別山		1		○
10/21	千石岩 フリークライミング		4		○
10/21	比良山系 地蔵山～釣瓶岳～武奈ヶ岳		1		
10/21	鈴鹿山脈 釈迦ヶ岳～三池岳		1	1	
10/22	武奈ヶ岳		1	1	
10/25	伊吹山(滋賀県)		1		
10/28	登山祭典、比叡山回峰行の道	登山祭典	21	5	○
10/29	藤原岳		1	1	
10/30 ~ 10/31	大菩薩連嶺(牛の寝～大菩薩峠～小金沢山～滝子山)		1		○
10/31	京都寺社巡り ⑦		2	2	

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。